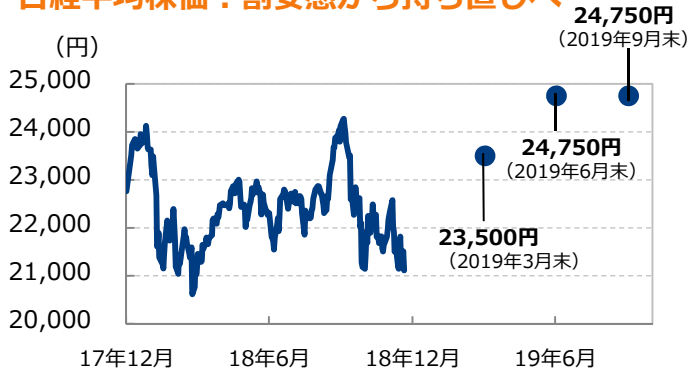




Market View 12月号

株式市場

日経平均株価：割安感から持ち直しへ



- 株価が一段と下落する可能性はあるが、日本株の割安さが強まる中で、消費税引上げに対応した財政支出拡大や、中国の景気下支え観測などから徐々に持ち直すとの見方。

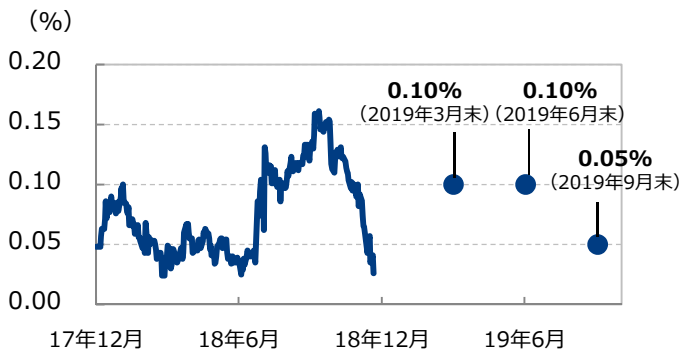
NYダウ：緩やかな持ち直しへ



- 景気鈍化や米中貿易交渉への懸念から下値固めの展開を見込む。その後は金融引締め策への懸念や、景気動向や貿易交渉への過度な悲観が後退する中で緩やかな持ち直しへ。

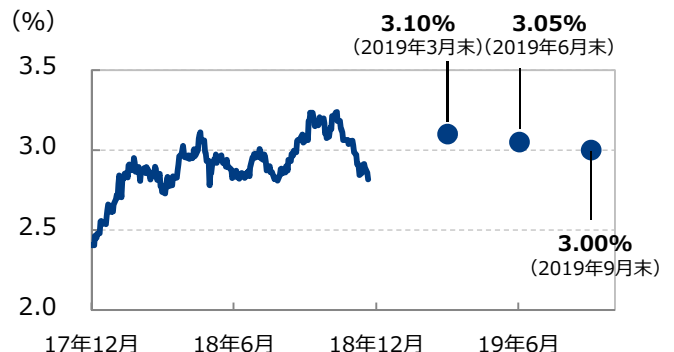
債券市場

日本10年国債：上昇した後に低下へ



- 米中貿易摩擦や英国ブレグジットなどの懸念が和らぎ、利回りは一旦上昇すると予想。
- 2019年後半には海外金利等の影響により利回り低下局面へ。

米国10年国債：来春からは低下へ



- 2019年4-6月期まで利上げが続く中、目先は利上げ期待回復で米債利回りは上昇すると見られる。
- 春過ぎ頃からは、米国の利上げ休止が意識され、同利回りは低下に転じると予想される。

(1/2)

※2017年12月29日から2018年12月18日までのデータは実績値。2019年3月末、6月末、9月末の値は当社予想。各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

本資料に示す当社予想は、特に断りのない限り本資料作成日現在における大和住銀投信投資顧問運用部門の見解です。また、大和住銀投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいむすびざん

大和住銀投信投資顧問

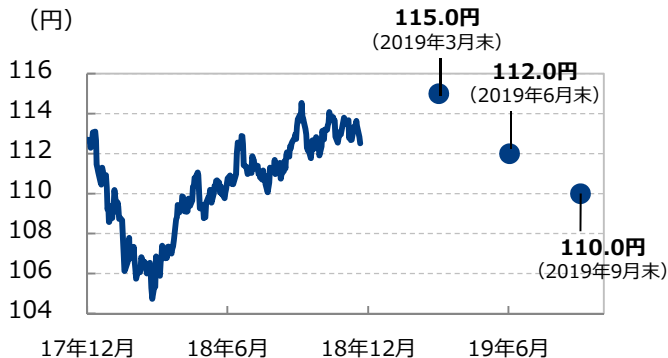
Daewoo SB Investments



Market View 12月号

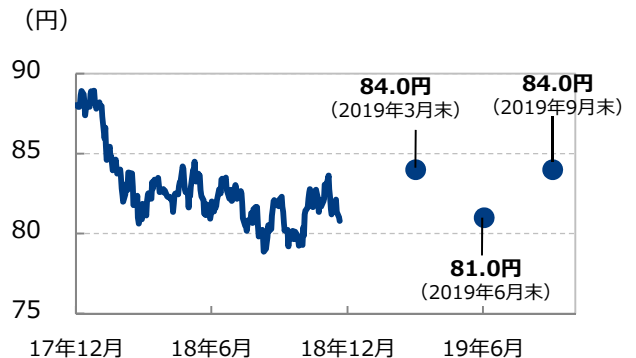
為替市場

米ドル/円：目先は円安、徐々に円高



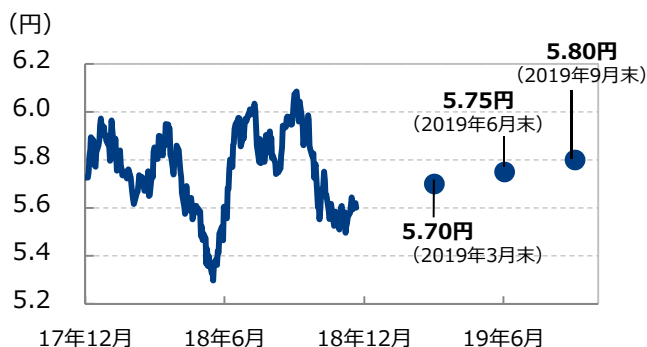
- 米国の利上げ継続や日本の対外直接投資などを背景に、目先は円安が見込まれる。
- 春過ぎ頃からは、米国の利上げ休止が意識され、円高方向に転じると予想される。

豪ドル/円：当面の上値は抑制



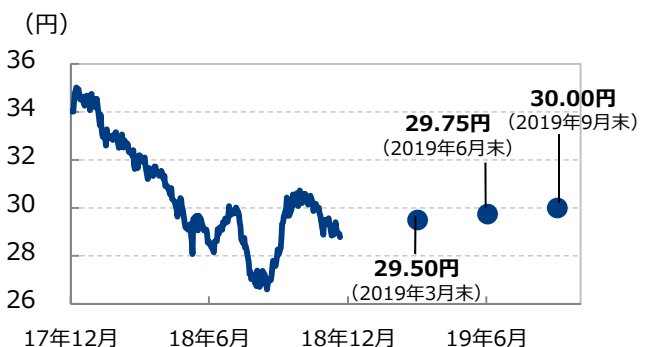
- 王立委員会による銀行問題に関する調査報告や総選挙を控えているほか、住宅市場の調整が長引いており、当面の豪ドルの上値は抑えられると予想。

メキシコペソ/円：当面の上値は抑制



- 目先はメキシコ新政権の政策姿勢に伴う不確実性から頭の重い状況が続くと予想。

ブラジルリアル/円：当面の上値は抑制



- ボルソナロ次期大統領への期待感が残るものの、実際の政策運営がどうなるのかについて市場は注視を続ける見込み。

(2/2)

※2017年12月29日から2018年12月18日までのデータは実績値。2019年3月末、6月末、9月末の値は当社予想。各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

本資料に示す当社予想は、特に断りのない限り本資料作成日現在における大和住銀投信投資顧問運用部門の見解です。また、大和住銀投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいむすびざん

大和住銀投信投資顧問

Daewoo SB Investments